



ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

その33

日本全県アウトドア巡り

香川県



源平ゆかりの地でお遍路ハイキング

(香川県・高松市)

今回訪れたのは香川県高松市の東にある屋島。かつて空海も通った古道を辿って、お遍路の84番目の札所である屋島寺を目指す。自然溢れるお遍路道は、ハイキングコースとしても、とても魅力的なルートなのだ。

登山口からなかなかの斜度の道が続く。今回目指すのはピークではなく、お寺。屋島寺を目指すお遍路歩きなのだ。屋島とは、香川県高松市の東にある半島。頂上部分が平らになったテーブル状の形がユニークな火山台地だ。那須与一の逸話などでも有名な、源平合戦の古戦場でもあり、多くの観光客が訪れる場所もある。その屋島の頂上にあるのが、今回の目的地である屋島寺。お遍路的には第84番の札所にあたる。屋島寺へ行くのにはいくつか登山道があるが、今回選んだのは空海も辿ったという表遍路道。

日本では珍しい テーブル型の台地



屋島遠景。天然記念物にも指定。実は日本初の国立公園、瀬戸内海国立公園にも含まれている。電柱にはお遍路マークが。



今月のマドンナ
ブックマルテ
箱崎菜海さん

今年、東京から香川に移住。ブックマルテという高松市内の本屋さん勤務。ここではコーヒーも提供していて、現在はコーヒーの焙煎家としても修業中。次は小豆島に住む計画も。

緑あり史跡ありの 変化に富んだ遍路道は 絶好のハイキングコース



今回の表遍路道は、石段や石畳で整備されているので、とても歩きやすい。空海が祈禱して湧き出したという加持水をはじめ、空海ゆかりのポイントが随所にある。約30分で山門に到着。

屋島寺に到着したら 参拝して完了!



現在の屋島寺は、もともと北嶺にあったものを、空海が南嶺に遷移。門前で合掌、一礼。水屋で手と口を清め、納札を納める、などなど。手順をひと通り済ませて、御朱印をいただいて完了。

巡礼の道、というところがちょっと薄暗くて、厳かな雰囲気予想していたんだけど、このコースは緑豊かで光が差し込む明るい道が続く。道中の所々に、石仏が安置されていて、それに手を合わせながら登っていく。20分ほど歩くと、視界も開けて眼下には瀬戸内海と町並みが見渡せる。「石畳で歩きやすいし初心者にもピッタリのコースですね」

お遍路歩きは初だという菜海さんも、気持ちよさそうに笑う。途中で畳石という奇岩などを通り過ぎ、いよいよゴールの山門が見えてきた。向こうからや

ってきた外国人2人組のハイカーとすれ違う。彼らがアウトドアウェアとお遍路装束をミックスさせた菜海さんのスタイルを見て「Cool」とニッコリ微笑む。そう、お遍路はクールなのだ。自然、お寺、町、人。お遍路には日本の良いところがギュッと凝縮されているから最近海外からの訪問者も増えている。

スペインにあるカミーノ・デ・サンティアゴという巡礼道には、世界中からハイカーが集まるといふけれど、四国のお遍路にも十分にそのポテンシャルがあると思うのだ。



うどんも良いけど 骨付き鶏もね!



鶏のモモ肉を丸ごと1本。丸亀市発祥で、高松市内でもよく売られている。特製スパイスでじっくり焼き上げた骨付き鶏は病みつきに。

高松屈指のお洒落スポット 北浜アリーにも注目!

かつての倉庫街を改装した北浜アリー。雑貨店やカフェ、レストランなどが軒を連ねる若者に人気のスポット。菜海さんが働く本屋さんもここに。ZINEや写真集を中心にした品ぞろえ。

BOOK MARUTE
香川県高松市北浜町3-2
<http://book-marute.com>





屋島の頂上はフラットになっているので、参拝を終えたら付近の散策に出かけるのも楽しい。県木園は日本各地の県の木が植えてある人気スポット。県木園の広場の西側からは高松市街や屋島湾を一望でき、西尾根山頂からは屋島城跡を眺めることもできる。他にもビュースポット多数なので、美味しいドリンク持参で、ゆったり過ごす場所としても最適。

温冷とも長時間もつから お遍路ハイキングにも ピッタリ

厳しい環境にも対応する 高機能な山専用ボトル



保温、保冷力ともに優れていて、6時間後でも77度Cをキープする。グローブをしたままでも扱いやすいなど、工夫がたくさん。ステンレスボトル/FFX-500 0.5ℓ 5500円(右)、FFX-900 0.9ℓ 各6500円(左)



山専用ボトル専用ポーチ。衝撃に強い素材を採用。ループ付きでザックからも取り出しやすく、折り返し構造なので、そのまま注げる。ボトルポーチ/FFX-500 Pouch 1800円(左)、FFX-900 Pouch 2400円(右)



山専用ボトルをよりラフに使える
クッション性の高いポーチ